



年 組 ()

サナは、ケイとコナツといつも一緒。仲良し3人組だ。

コナツが席をはなれたときに、ケイがいて案してきた。

「ねえ、コナツってさ、もうすぐ誕生日だね。」

「そうだね。わたしたちの誕生日もお祝いしてくれだし、何かしてあげないとね。」

「うちで、お誕生日会をやろうよ。ケイがおどろくように、ケーキなんかも用意したいな。」

「いいね。さっそく計画を立てよう！」

コナツがもどってきた。

「なになに？ 楽しそうね。何の話をしてたの？」

「うーん、内緒！」

サナとケイは、一緒になって笑った。しばらく、こっそりと計画を進めた。コナツの好きな誕生日プレゼントも用意した。でも、日を追うごとに、コナツは不機嫌になった。不思議に思ったサナは、コナツにたずねた。

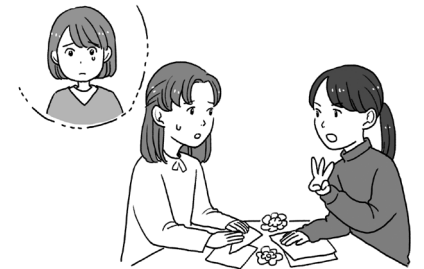
「コナツ、どうしたの？ このごろ、なんだか変だよ？」

「——どっちが変なのよ！ 2人でばかり、こそこそ話をして。ずっと3人で楽しくやっていたのに。私だけ仲間はずれにするなんて、ひどいじゃない！」

コナツにいやな思いをさせているとは思っていなかったの
で、サナは申しわけない気持ちになった。サナは、ケイにそのことを伝えてみた。ケイは強い口調で言った。

「——でも、今、本当のことを話してしまったら、せっかくのじゅんぴが台無しじゃない。あと3日だけ、がまんしてもらおうよ。そうすれば、よろこびも2倍、3倍になるはずだよ！」

サナは、今すぐ話すべきか、
だまっておくべきか考えた。



サナは、コナツに事実を話すべきでしょうか。それともだまっておくべきでしょうか。あなたの考えと理由を書きましょう。

.....
.....

話し合ってから考えたことを書きましょう。

.....
.....